

# あざみ沢通信

第25号

H25年度第2号  
長野県野沢北  
高等学校  
PTA広報委員会



## 人生の岐路

平成25年度PTA会長 上原 幸久

2013年は、2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることが決定し、日本中に明るさをもたらす、盛り上がりを見せた一年でありました。しかしその後、招致の立役者の一人であった猪瀬東京都知事の5000万円借り入れ事件が発覚し、辞任に追い込まれるということになりました。

ソチオリンピックでは、本校の卒業生である菊池萌水さんがショートトラックで代表に選ばれました。オリンピックに四姉妹で出たいという夢を持ち、努力し、大学を休学し専念した結果、その夢を叶えることが出来ました。

卒業生のみなさんご卒業おめでとうございます。みなさんは、人生の中の第一の大きな岐路に立ちその目指す方向に向かって進まれようとしています。そして今までよりも、もっと広い世界で沢山のひとと出会い、切磋琢磨していくのだと思います。これから迎えることとなる二十代の経験はみなさんにとって人生を形づくる大きな経験になっていくことに間違いありません。その中でも、大きな岐路に立つことが何度かあると思います。その時には、どうか熟考し、心の奥底に問いかけて下さい。それでも迷うとき

は、親友や先生、周りの自分が頼れると思う人に相談して下さい。

結論を出す前に、私からのメッセージを添えさせて頂きますので参考にして下さい。

生命潮流と言う言葉があります。地球上に生存を許された、動物、植物を含め、生命体の絶対量には限りがあり、脈々と世代を継ぎながら、とうとうと流れる潮の流れのようなものだと言うことです。私たち人間もその潮の流れに押し流されながら、その存在を主張し、地球上でその役割を担い、生きていくと言うことです。

もう一つは、物事の成り立ちには、原因があつてその結果があるということです。よい結果を得ようとすれば、その原因となる努力と決断が必要だと言うことです。

何が正しいのか、何が間違っているのか、何をしたいのか、何をすべきなのか、自分の内面と深く会話することは、自分を鏡で客観的に見ることになると思います。

頑張ってください。



## あの木々が私の生涯です

長野県野沢北高校校長 青柳 淳

高校時代というのは、青春期のまっただ中にあります。そして、青春期は、第二の誕生の時期といわれます。野沢北高校の三年間に、皆さんの生き方の姿勢、すなわち心身の構えと呼んでもいいようなものが形成されてきたものと思います。

本校の卒業生の特徴は、粘り強く努力を積み重ねるということです。有名になる人も無名のままの人もい

ます。

本校卒業生ではありませんが、木曾に生きた落合恒人さんという、無名な方のことを記します。落合さんは、昔のことですから、中学を卒業してすぐに電力会社の水力発電部門へ勤務しました。ダムの上流にある山と森林の管理が仕事でした。その落合さんが、次のような挨拶状を書きました。

：自分は、職場の旅行などをのぞけば、ほとんど木曾から出ることがありませんでした。しかし報告することがあります。あの大戦で乱伐されて禿山のようになった山々に、四十八年間にわたり、檜を植え続け、植え続け、いくつかの風景をほぼ元どおりの姿に戻しました。どんな分水嶺に立っても、ウロコのように続く木々と何時間でも向かい合うことができます。これが私の生涯でした。

このような挨拶状を知人友人に送り、落合さんは無事に定年退職する予定でした。

しかし、落合さんは、退職をわずか数日後に控えて、鉄塔を点検する作業中に滑落して亡くなってしまいました。母親を見、妹を嫁に出し、妻を大切に、子どもを一人前にしました。そして突然去ってしまったわけでした。

野沢北高校で養われた生き方の姿勢を以って、皆さんはこれからの長い人生を歩んで行くことになります。その道筋においては、自分と自分の周りの世界を正しく認識すること、仲間をそして人間を信頼すること、さらに、世界との安定した関係を失わずに生きていくことなど、がとても大切になります。すなわち、冷静な頭脳と温かい心を以って生きていくということです。

活躍を期待します。





## 2学期の学年行事紹介

## 2 学年 沖縄修学旅行

11月4日～7日までの3泊4日の日程で、2年生は沖縄県に修学旅行に行きました。ジャケットが無いと寒い佐久を出発しましたが、到着した那覇は半袖でも汗ばむときがありました。沖縄戦についての平和学習とともに、現地の文化や特色に触れる経験をしてきました。



## &lt;主な日程&gt;

- 11月4日 新幹線にて佐久平駅出発 羽田空港より那覇空港へ 那覇で平和講演会聴講  
 5日 平和の礎にて平和セミナー開催  
 県立平和祈念資料館見学 壕の見学 ひめゆり資料館見学 首里城公園見学  
 6日 マリン体験 美ら海水族館見学  
 7日 佐喜真美術館見学 那覇空港より羽田空港へ バスで帰校

## 1 学年 松代遠足

11月6日に、1年生は松代遠足に行きました。松代大本営跡および無言館を見学し、松代大本営建設と沖縄戦の関連性を歴史的に捉え、来年度に行われる沖縄修学旅行の事前学習を中心とする内容でした。



## PTA教養委員会主催行事 『ジャザサイズ』のご報告

快晴に恵まれた平成25年11月16日(土)の午後、本校小体育館でPTA教養委員会主催行事の『ジャザサイズ』が行われました。昨年から引き続き相米友紀氏を講師としてお招きしました。校長先生を初めとし、約40名の参加者のみなさんがおよそ2時間に渡ってジャザサイズに取り組み、気持ちのいい汗を流しました。多くの方のご参加、ありがとうございました。来年度もPTA会員の皆さんが楽しく参加できる行事を計画したいと思います。



## PTA 教養委員 神尾 惣一郎

昨年11月に行われました『ジャザサイズ』に年中の娘と参加しました。一昨年も開催されたとお聞きしましたが、私自身は全くの素人で優雅なジャズのイメージを持ちつつ、その始まりを待っていました。しかし、全然違っていて、全米のヒット曲などに合わせて決められた型の動きを繰り返すのですが、見た目以上にハードなものでした。

子どもはお気に入りの絵本を通してダンスに興味を持っていましたが、そのハードさゆえか、一緒に体を動かしていたと思ったら、いつの間にかそばで遊びだしていました。

そんな子どもを横目に、数少ない男性の参加者として恥ずかしくないよう日々の運動不足を忘れ、先生方の動きについていくのに必死でした。途中休憩を挟み、後半からはなんと筋トレでした。ここでもまた無理にやり過ぎていたのでしょうか。この日からしばらく私のカラダは悲鳴を上げてしまいました。しかし久しぶりに心地よい汗をかき、爽やかな疲労感に包まれ、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

相米友紀先生をはじめ、インストラクターのみなさん、そしてともに参加されたみなさん、ありがとうございました。またこのような機会に恵まれるようでしたら、みなさんもぜひ参加してみてください。



## 学校ニュース

本校卒業生 菊池萌水さん  
ソチオリンピック 日本代表選手に!

本校の卒業生であり在学中もスケートで活躍をした菊池萌水さんがソチオリンピックのスケート・ショートトラック競技の選手に選ばれました。

菊池さんは平成20年に本校に入学し、スケート班の一員として、国体優勝や世界ジュニア選手権出場などの素晴らしい成績を残しました。卒業後は早稲田大学に進学し、競技を続けています。オリンピックイヤーである今年度は競技に集中したシーズンを送ったようです。

本校スケート班OB会や同窓会が中心になり、1月13日に壮行会が催され、スケート班の在校生である菊原くんと上原くんが応援の花束を贈呈しました。



写真：左菊原くん、中央菊池さん、右上原くん



# 理数科の取り組み

## 2年 課題研究発表会

### 課題研究発表会を終えて

2年 藤巻 美詠

いよいよ自分たちの出番となった課題研究発表会ですが、私は大成功だったと思います。夏休み前に説明がありましたが、私の班が活動し始めたのは12月頃です。実験も上手くいかなくて不安ばかりでしたが、何とか発表を終えることが出来ました。でもこれから課題研究をやるみなさんは、もう少し計画的にやることをお勧めします。

私が今回の課題研究に当たり大切だと感じたのは、担当の先生との関係です。実験においてもレポートにおいても、とてもお世話になるのでよい関係を築くこともよい発表に繋がると思います。そして私はこの理数科のクラスの人たちはすごいと改めて思いました。難しい内容にも興味を持って質問し意見をぶつけ合う姿は本当にさすがです。私もそんなクラスの一員として恥ずかしいくないように、勉強ですが、このような活動の場でも積極的になれるよう精進したいと思います。



## 1年 校外実習 星の教室

1年理数科は校外実習の一つとして、8月に国立天文台野辺山観測所、1月にうすだスタードームに行き、天文についての学習活動を行いました。今回は8月野辺山観測所での実習後の生徒の感想や疑問点をご紹介します。

〈生徒の感想〉

- ・普段見ることのできないアンテナなどが見られてとても面白かった。
- ・身近なところに世界最先端の施設があるとわかり感動した。
- ・いろいろな質問にも回答していただき、多くの知識を得ることができた。
- ・高度な技術を生で見学し、体験できてとてもよかった。
- ・測定の仕組みなどがわかってよかった。
- ・知らないことがたくさんあってわくわくした。
- ・自分たちの勉強が何につながっているのかわかることができてよかった。



- ・太陽の観測データを1台のコンピュータで処理しているのがすごいと思った。
- ・数学をしていたという感じがしたが、結果がみんなとほぼ同じでうれしかった。
- ・太陽の温度という想像もつかない事柄を計算で導き出すなんてすごいと思った。
- ・実際に太陽の温度を自分たちで求めることができ、とても感動した。
- ・肉眼で見えないものを電波で探っていることを説明していただいて、とても興味深かった。

〈実習で生じた疑問〉

- ・なぜコロナの方が表面より温度が高いのか？
- ・太陽の中心部の温度はどうやって測るのか？
- ・ブラックホールに対してホワイトホールのようなものもあるのでしょうか？
- ・なぜ宇宙があるのでしょうか。なぜ私たちはここにいるのでしょうか？

## 生徒紹介



新生徒会長  
2年 水間裕太くん

### 生徒会長としての目標

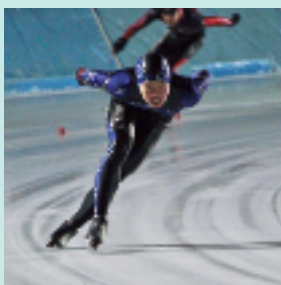
野沢北高校の新生徒会長の水間裕太です。軽音班に所属しています。プリンとシュークリームが大好物です。勉強、班活動、生徒会活動と忙しい中で充実した高校生活を過ごしています。

私は生徒会長として「生徒の意見を反映した生徒会にする」「日輪祭を成功させる」という二つの大きな目標があります。具体的な活動としては、意見を募るための意見箱の設置、日輪祭の全校制作の早めの準備を重点的に行っていきたいです。自分が生徒会長であることをしっかりと自覚し、野沢北高校の生徒会活動を盛り上げていきたいです。全校のみなさん、一緒に頑張りましょう。よろしくお願いします。

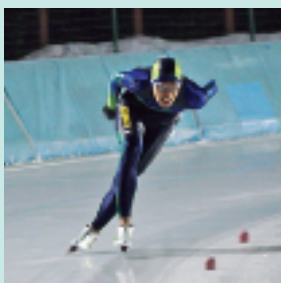
## スケート班

3年 菊原魁人くん・2年 上原大知くん  
全国高校総体(インターハイ)・国体での活躍

菊原くんと上原くんは、長野県代表として全国高校総体(インターハイ)スピードスケート競技で活躍しました。スケートシーズンも終盤戦になってきましたが、ここで紹介した以外にも多くの大会で活躍している二人です。これからの益々のご活躍を心から祈念致します。



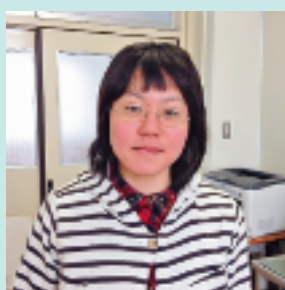
菊原くん  
インターハイ 500m 第7位  
国体 少年男子 500m 第3位



上原くん  
インターハイ 500m 第14位

## 囲碁将棋班

全国高等学校文化連盟将棋新人大会出場  
1年 竹花和さん



『全国大会に出場して』  
私が将棋を始めたのは高校に入ってからでした。その時はまさか自分が将棋の全国大会に行くなんて思ってもいず、今も驚いています。私が行った全国大会は函館で行われたためとても寒かったのですが、会場の中は活気と熱気で満ちていました。私は会場の雰囲気につきりのまれてしまい、不安と緊張で体が固まり心臓の音がバクバクするほどでした。そしてそんな中始まった試合、私は必死に相手の手を読み、自分の次の一手を考えました。試合結果は予選リーグ5試合中3勝2敗。惜しくも決勝トーナメントには進めませんでした。

その結果を前にして、私は初出場ながらもここまでやれたという思いもあります。なので、この悔しさを忘れず、再び全国大会に出場できるように、また日々の努力を重ねていきたいです。

## 吹奏楽班

2年 江川史織さん・1年 土屋七海さん  
中部日本管楽器個人・重奏コンテスト本大会に  
長野県代表として出場権獲得

吹奏楽班の江川さんと土屋さんは、1月19日に行われた中部日本管楽器個人・重奏コンテスト長野県大会フルート重奏の部で金賞を受賞しました。来たる3月に石川県小松市で行われる本大会に、長野県代表として出場します。素晴らしい音色を奏でて来て下さるよう、応援致します。



〈左 江川さん、右 土屋さん〉

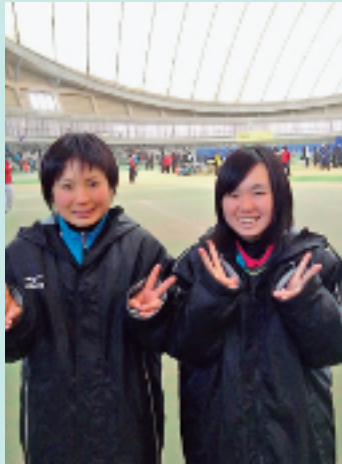


## 女子ソフトテニス班

2年 須田桐可さん・1年 小林礼奈さん  
北信越高等学校ソフトテニスインドア  
大会出場 ベスト16

私は1月17日から19日に石川県小松市のこまつドームで行われた北信越高等学校ソフトテニスインドア大会に出場しました。この大会で私は長野県と他県とのレベルの違いを肌で感じ、そして他県のレベルの高さを知りました。見ていて他県はすごく簡単そうにテニスをしていた何でだろうと疑問を感じました。私の知っている言葉に『簡単にプレーをしているように見えるのは基本がしっかり出来ているから』と言うのがあります。本当にこの通りだと思います。基本のレベルが高いから難しいことも簡単そうにやっているんだと思います。私は実際に試合をしてみても、北信越でも通用するプレーや自分の弱点・下手なプレーが明確に見えました。1年の内からこのようなよい経験ができたので、この経験を夏の大会や今後の班活動に活かしていきたいです。  
(1年 小林礼奈さん)

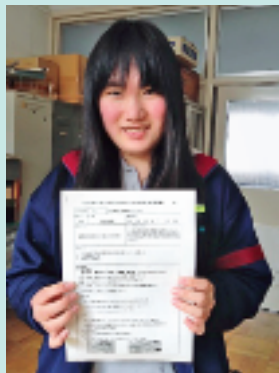
〈左 須田さん、右 小林さん〉



## 家庭科班

2年 羽毛田真希さん  
ホームプロジェクトコンテストながの  
優秀賞受賞

私は「ホームプロジェクトコンテストながの」で優秀賞を頂きました。このコンテストは、学校で学んだ知識を基に、自分の家庭生活の中から問題点を見だし、その解決のために研究する活動です。私はこの活動で、長野の郷土料理である「おやき」を自家製野菜で作りました。材料やレシピを考えるのは大変でしたが、考える楽しさを味わえ、楽しく作ることが出来ました。料理の楽しさをますます実感できたので、次は違う味にチャレンジしたいです。



〈羽毛田さんのコンテスト作品〉  
「自家製野菜を利用した

郷土料理で健康に」  
地元のそば粉の「おやき」に、自家製野菜を加え、さらに健康増進になる具材を加える。材料：地粉、そば粉、きなこ、スキムミルク、ごま、砂糖、シシトウ、タマネギ、味噌、みりん。



## 自転車・トライアル競技

JCF (日本自転車競技連盟) トライアルの強化指定選手に選ばれて、多くの大会で活躍しています。甘利くんは学業と競技の両立に力を入れて過ごした高校生活から、この春卒業します。野沢北高校を巣立ってからの活躍もご祈念致します。夏以降に活躍した主な大会結果をご紹介します。

\* 国際自転車競技連合 世界選手権 第9位  
\* トライアル全日本選手権 準優勝



3年 甘利大斗くん

## 第25回氷上トリアスロン小海大会

一般女子の部 優勝

『マイナス15度極寒の地で体力の限界に挑む』というスローガンの下、スラロームスキー3kmランニング16kmスケート10kmに挑む過酷な大会です。個人の部とリレーの部がありますが、小宮山さんは個人一般女子の部に出場し、見事優勝しました。おめでとうございます。  
ございます。



2年 小宮山悠さん

# 班活動以外にも、こんな活躍があります

## フィリピン医療ボランティア参加

『ハロアルから学んだこと』

1年 井澤友紀乃

私は「ハロアルソン」という医療ボランティアを4日間フィリピンでやってきました。幼くして前歯4本をなくしたアルソン君にちなんで、この名前が付けられました。主な活動内容はフィリピンの経済的に恵まれない人に無料の歯科治療をすることです。今回で第9回目をむかえ、高校生36人と過去最多でした。30℃以上もある過酷な環境の中で歯ブラシ、タオルなどの物資配りと医療活動をしました。物資を渡した時のフィリピンの人達の笑顔は今でも忘れません。そして医療活動では何人もの人の歯が抜かれる瞬間を見ました。日本ではまだ治る健康な歯でも、治療するお金がないため抜くしかないのです。押さえている頭からミシミシと歯を抜くのが伝わってきました。一番印象に残ったのが19歳の女性の方の前歯を抜く場面でした。自分だったら…と思うと涙が溢れて止まりませんでした。そしてこのボランティアを通して自分がどれ



だけ恵まれているか実感しました。教育が受けられるありがたさ、何気ない日常がとても幸せなことだと気づきました。自分を成長させてくれた4日間でした。

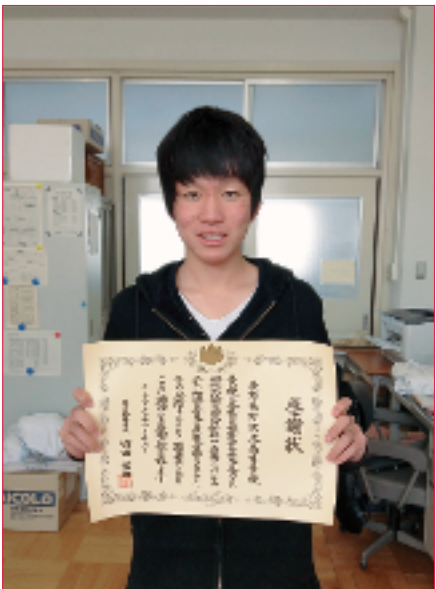


## 税に関する高校生の作文

長野県租税教育推進協議会会長賞 受賞

1年 岩下 宏紀

長野県租税教育推進協議会が主催する「税に関する高校生の作文」に応募した結果、岩下くんの作品が入選作品集に掲載され、「納税教育への協力」より感謝状を頂きました。



## フリースタイルスキー・モーグル

フリースタイルスキー モーグル競技の全日本ナショナルチームのジュニアメンバーに選出され、多くの大会で活躍しています。荻原さんも学業と競技の両立をしながら高校生活を過ごし、この春卒業を迎えます。進学先でも、将来の目標に向かって、学業も競技も活躍されることをご祈念致します。最近行われた主な大会の結果をご紹介します。

\* North American Cup (Stratton)

1戦目 44位・2戦目 16位

\* North American Cup (Valsaintcome)

3戦目 35位・4戦目 23位

\* 総合NORAMランキング28位で、日本のW杯出場権を獲得



3年 荻原京さん



